

教科書完全マスターシリーズ

単語力・熟語力を飛躍的に up させたい諸君の強～い味方

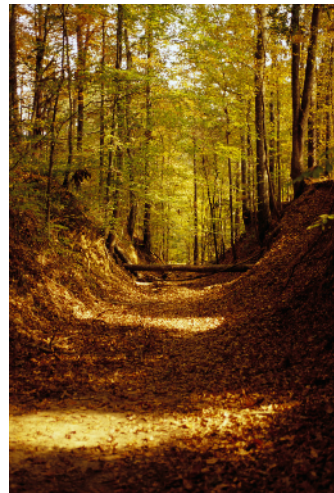
教科書の予習・復習にぴったり！！

英単語・熟語無双

< 中学 3 年 > NC

英単語は、元の意味・最も使い道の広い意味を1つか2つ知っていればOK！

英熟語は、それぞれの単語の意味を元に、「熟語としての意味がどのように生まれたのが」を理解すればOK！



考える学習をすすめる会

あさひ学習自由区 塾長 石田 和彦 著

考える学習をすすめる会

<http://www.kangaeru.org/>

は・じ・め・に

本書の目的はズバリ、**重要な単語・熟語を完全にマスターすること**ですが、丸暗記を前提とした市販の単語・熟語集とは次の点で大きく異なります。

単語については、教科書本文中の「せまい意味」にとらわれず、その単語**オリジナルの意味・最も使い道の広い意味**を重視しました。

そのため、単語の意味を**1つか2つ**に絞ってあります。

熟語は、「**なぜ『熟語としての意味』が生まれたのか**」を知ってもらうことを重視しました。

セット扱いする前の**単語1つ1つの意味にバラした解説**を、すべての熟語に載せてあります。

2種類(以上)の品詞として用いられる語は、**本文で登場する以外の品詞**もできるだけ語例を収録しました。

よく似た意味の単語は、**用法の違い**をくわしく解説しました。

では、次のページで、「**なぜ、単語の意味を絞ったのか?**」「**なぜ、熟語をバラしたのか?**」をご説明します。本テキストが、**単なる単語・熟語リスト**だと思われたくないで…。

たとえば、動詞 have。辞書には **10 通り以上の「意味」**が載っており、教科書などでも**場面によって意味を使い分ける**のがフツーです。

ところが...

このテキストには、have の意味として「**持っている**、**持つ**」の**2つしか載っていません**。**これだけで十分だから**です！ どーゆーことかと言うと、

I **have** a sister. You **have** a cat.
私は **持っている** 1人の 姉妹を。 あなたは **持っている** 1つの ネコを。

We **had** a good time last Sunday.
私たちは **持った** 1つの よい 時間を この前の 日曜日。

どうです？ ~ の英文、チョット考えれば、**これだけで文全体の意味は分かる**でしょ？

ふつうは、「**~がいる**」、「**飼っている**」、は have a good time を熟語にして「**楽しいときを過ごす**」などと意味を使い分けます。

すると、ここままで、**余計なことを3つも覚えなければ**なりません。この調子で単語の意味を**やく**し分けていったら、キミたちを待っているのは...






そう、**丸暗記地獄**。これじゃあ、英語の学習が楽しくなくなりますよね。

覚えることは、なるべく少ない方がいい！

だから、**やくご**の数を極端に減らし、熟語さえ「**単語の意味だけで理解してしまおう**」という考えに徹しました。

予習・復習のパートナーとして、このテキストを繰り返して**じゅくどく**すれば、キミも**英単語・熟語の達人**になれます！

本テキストの構成

<p> program [próugræm] </p> <p>p · ro · g · ra · m プ · ロウ · グ · ラ · ム </p>	<p> プログラム (名詞) </p> <p>組み上げたものがオリジナルの意味。 場面によって、「予定」だったり、「計画」だったりする。</p> <p>教科書には「事業」などがあるが、決してこのように覚えてはイケナイ！！ 辞書にもこんな意味は載っていないぞ！</p>
--	---

スペル (中1用のみ、教科書とほぼ同じ書体しよたいになっています)

発音記号 (アメリカ英語を標準としました。辞書などで調べて、発音記号ししよを読めるようにしよう)

発音とスペルの関係 (辞書に載っている「音節」おんせつとは異なります)

意味 (その単語**オリジナルの意味**、**最も使い道の広い意味**を精選せいせんしてあります)

品詞 (それぞれの品詞については、参考書などで確認してください)

解説部分は、

青字はくわしい解説、**赤字**は**注意すべき事柄**ことがら (時々、教科書などに見られるフツの説明への批判ひはん) です。

目 次

A	で始まる単語・熟語	P 1 ~ 5
B	で始まる単語・熟語	P 6 ~ 9
C	で始まる単語・熟語	P 10 ~ 16
D	で始まる単語・熟語	P 17 ~ 20
E	で始まる単語・熟語	P 21 ~ 24
F	で始まる単語・熟語	P 25 ~ 28
G	で始まる単語・熟語	P 29 ~ 32
H	で始まる単語・熟語	P 33 ~ 35
I	で始まる単語・熟語	P 36 ~ 38
J	で始まる単語・熟語	P 39
K	で始まる単語・熟語	P 40 ~ 41
L	で始まる単語・熟語	P 42 ~ 44
M	で始まる単語・熟語	P 45 ~ 49
N	で始まる単語・熟語	P 50 ~ 51
O	で始まる単語・熟語	P 52 ~ 53
P	で始まる単語・熟語	P 54 ~ 59
Q	で始まる単語・熟語	P 60
R	で始まる単語・熟語	P 61 ~ 63
S	で始まる単語・熟語	P 64 ~ 73
T	で始まる単語・熟語	P 74 ~ 78
U	で始まる単語・熟語	P 79
V	で始まる単語・熟語	P 79
W	で始まる単語・熟語	P 80 ~ 85
Y	で始まる単語・熟語	P 85
付録	年号の読み方	P 86

A・a

<p>able [eibl]</p> <p>a・b・le エイ・ブ・る</p>	<p>可能な(状態) (形容詞)</p> <p>「何かをする能力がある」という状態。</p>
<p><i>be able to ~</i></p> <p>be able to ~ である 可能な状態 ~する</p> <p>(注) 形容詞の後の不定詞は副詞的用法だが、右の解説では、あえて「名詞的」ととらえた。</p>	<p>~ することができる</p> <p>助動詞 can と「ほぼ同じ意味の熟語」ということになっているが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ be able で「可能な状態である」 ・ to ~ で不定詞。「これから~する」 <p>つまり、be able to ~ で、「(これから)~することが可能な状態である」というのが元の意味。</p>

can と be able to の違い

can …… I (He) **can** play tennis.

can に限らず、助動詞は話し手の気持ちや意思・判断を表す。

主語が I なら、「**自分はやろうと思えばいつでもできる**」という気持ち、

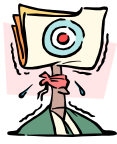
主語が he なら、「**彼はその動作が可能であろう**」という判断。

ただし、助動詞 can は、**可能性**以外にも、**能力・許可**等、幅広く使われる。

be able to ~ … I **am** (He **is**) **able to** play tennis.

助動詞ナシの文は、単に現在・過去の**事実**を述べているだけ。主語がなんであろうと、**事実として、その動作が可能である(であった)**。つまり、ある動作を行うための**能力**がある(あった)ことにウェイトを置いた表現。

abroad [əbrɔ:d]	a · b · roa · d ア · ブ · ロー · ドウ	外国に · へ (副詞)
accept [əksépt]	a · c · ce · p · t ア · ク · セ · プ · トウ	受け入れる (動詞)
accident [æksidənt]	a · c · ci · de · n · t ア · ク · スィ · ダ · ン · トウ	事故 (名詞)
act [ækt]	a · c · t ア · ク · トウ	行動する (動詞) こゝい 行為, 振る舞い (名詞) もアリ。 しばい 芝居などでは, その役になりきって行動するので, 「演じる」という意味にもなる。
add [æd]	a · d ア · ドウ	(付け)加える (動詞)
address [ædres]	a · dd · re · ss ア · ドウ · レ · ス	住所, 所在地 (名詞)
afraid [əfréid]	a · f · rai · d ア · フ · レイ · ドウ	恐れている状態 (形容詞)

<p><i>be afraid of ~</i></p> <p>be afraid of ~ である 恐れている状態 ~の</p>	<p>~を恐れる</p> <p>「~のことを恐れている状態である」ということ。</p> 
---	---

<p>against ~ [əˈɡeɪnst]</p> <p>a · gai · n · s · t ア · ゲ · ン · ス · トウ</p>	<p>~に反対して (前置詞)</p>
--	----------------------------

<p>air air [eə] エア(ア)</p>	<p>空気, 空中 (名詞)</p>
---	--------------------

<p><i>all over the world</i></p> <p>all over the world すべて ~を越えて その 世界</p>	<p>世界中で・の</p> <p>世界という枠組^{わくぐみ}を越えた, すべて^{すべて}のところで。</p>
---	--

<p>almost [ɔːlməʊst]</p> <p>a · l · mo · s · t オー · る · モウ · ス · トウ</p>	<p>ほとんど (副詞)</p> <p>^{こうてい}肯定文で使う。</p>
--	--

<p>already a · l · rea · dy [ɔːlrɛdi] オー · る · レ · ディ</p>	<p>[肯定文中で]もう, すでに (副詞)</p>
---	----------------------------

<p>American [əˈmɛrɪkən]</p> <p>A · me · ri · ca · n ア · メ · リ · カ · ン</p>	<p>アメリカ人 (名詞)</p> <p>アメリカ(人)の (形容詞) もアリ</p>
<p>anyone a · ny · o · ne [éniwʌn] エ · ニ · ワ · ン</p>	<p>[疑問文中で] だれか (代名詞)</p> <p>[否定文中で] だれも (~ない)</p> <p>[肯定文中で] だれでも</p>
<p>anything a · ny · thi · ng [éniθɪŋ] エ · ニ · すイ · ング</p>	<p>[疑問文中で] 何か (代名詞)</p> <p>[否定文中で] 何も (~ない)</p> <p>[肯定文中で] 何でも</p>
<p>anywhere [éniˈhweər]</p> <p>a · ny · where エ · ニ · (フ)ウエア(ア)</p>	<p>[疑問文中で] どこか^へ</p> <p>[否定文中で] どこ^へも (~ない)</p> <p>(副詞)</p>
<p>approach [əˈpróʊtʃ]</p> <p>a · pp · roa · ch ア · プ · ロウ · チュ</p>	<p>接近する (動詞)</p> <p>接近 (名詞) もアリ</p>
<p>arrest a · rre · s · t [əˈrést] ア · レ · ス · トウ</p>	<p><small>たいほ</small> 逮捕する (動詞)</p>
<p>arrive a · rri · ve [əˈraɪv]</p>	<p>到着する (動詞)</p>

atomic [ə'támik]	a · to · mi · c ア · タ · ミ(ツ) · ク	原子力の(形容詞)
----------------------------	-------------------------------------	-----------

B・b

became [bikéim]	be・ca・me ビ・ケイ・ム	become の過去形（動詞） 「～になった」
---------------------------	--------------------	-----------------------------------


been [bin]	bee・n ビ・ン	be の過去分詞
<i>have been to ~</i>		～にいたことがある
have been to ~ 持っている いたという事実を ~へ		現在完了は、「過去分詞で表された事実が過去のある時点で起こった。それを現在持っている」というのが本来の姿。今いる所から、別の場所を指差して、「～へ」。そこに「いたという事実」を「持っている」。
		have been to ~ で、「～へ行ったことがある」と訳されるケースが多いが、go の過去分詞など使われていない。せめて、「いたことがある」としてほしい。

began [bigéin]	be・ga・n ビ・ゲア・ン	begin の過去形（動詞） 「始めた・始まった」
--------------------------	-------------------	-------------------------------------

begin [bigín]	be・gi・n ビ・ギ・ン	始める・始まる（動詞）
-------------------------	------------------	--------------------

<p>begin with ~</p> <p>begin with ~ 始まる ~といっしょに</p>	<p>~とともに始まる</p> <p>不用意に「~から始まる」などと訳さないように。そんなことしたら、withではなく“from”と書いて間違えちゃうぞ。</p> <p>withの意味は「~といっしょに」。これを「~と共に始まる」だと思ってくれ。</p>
--	---

<p>begun be · gu · n [bigʌn] ビ · ガ · ン</p>	<p>begin の過去分詞</p>
<p>behind be · hi · n · d [biháind] ビ · ハイ · ン · ドウ</p>	<p>背後に，後に残して（副詞）</p> <p>~の背後に，~を後に残して（前置詞）もアリ</p>

<p>bicycle bi · cy · c · l [báisikl] バイ · スイ · ク · ー</p>	<p>自転車（名詞） </p>
---	---

bike「バイク」は、日本語では「オートバイ」を指すが、英語では(小型オートバイを含むもの)おもに「自転車」を指す。一方、bicycleは「自転車」だけ。

<p>bite bi · te [bait] バイ · トウ</p>	<p>^か噛む（動詞）</p>
<p>bomb bo · mb [bam] バ · ム</p>	<p>爆弾（名詞）</p>

borrow [bárou]	bo · rrow バ · ロウ	借りる (動詞)
--------------------------	----------------------------	----------

both [bouθ]	bo · th ボウ · す	両方とも (副詞) 両方 (代名詞) もアリ 両方の (形容詞) もアリ 興味のある人は、下の解説を。
-----------------------	--------------------------	--

both の品詞と主語について

次の3つの英文を、ビミョーなニュアンスの違いと、文中の**主語(S)**とを意識して読んでみてください。

副詞の場合

Both ^S **Kaori** and ^S **Ayako** like tennis.
両方とも **カオリ**は そして **アヤコ**は 好む テニスを。




代名詞の場合

^S **Both** of the girls like tennis.
両方は ~の その 少女たち 好む テニスを。 **少女は2人だけしかいない**

形容詞の場合

^S Both **girls** like tennis.
両方の **少女たちは** 好む テニスを。 **他にも少女(たち)がいるかもしれない**

<p>box [baks]</p>	<p>bo · x バ(ツ)・クス</p>	<p>箱 (名詞)</p> 
------------------------------	---------------------------	--

<p>bring out ~</p> <p>bring out ~ 持ってくる 外へ ~を 連れてくる</p>	<p>~を持ち出す・連れ出す</p> <p>「単語としての意味は の通り。これだけで十分わかるだろうから、ムダに熟語扱いして覚えないように。」</p>
--	---

<p>brought [brɔ:t]</p> <p>b · rough · t ブ · ロー · トゥ</p>	<p>bring の過去形 (動詞) 「持ってきた, 連れてきた」</p> <p>bring の過去分詞</p>
--	--

<p>building [bildiŋ]</p> <p>bui · l · di · ng ビ · る · ディ · ング</p>	<p>建物, ビル (名詞)</p>
--	--------------------


C・c

<p>cake [keik]</p> <p>ca・ke ケイ・ク</p>	<p>ケーキ（名詞）</p> 
<p><i>call out</i> ~</p> <p>call out ~ 呼ぶ 外へ ~を</p>	<p>~を大声で呼ぶ</p> <p>ただ「呼ぶ」のではなく、ありったけの声を「外へ」向かって出すような感じ。</p>
<p>cause [kɔ:z]</p> <p>cau・se コー・ズ</p> <p><i>cause ~ to ...</i></p> <p>cause ~ to ... 引き起こす ~に ...する ...することを</p>	<p>引き起こす（動詞） 原因，理由（名詞）もアリ</p> <p>~に...させる</p> <p>「~」には「人(生き物)」が来て，動詞 cause の目的語になる。 「...」には動詞の原形が入り，「to ...」で不定詞。</p> <p>主語が「...に，『これから...することを』引き起こす」がオリジナルの意味。これでは分かりにくいので，セット扱いすると のようになる。</p>
<p>ceiling [si:liŋ]</p> <p>cei・li・se スイー・リ・ング</p>	<p>てんじょう 天井（名詞）</p>


<p>character [kæriktər]</p> <p>cha · ra · c · ter ケア · リ · ク · タ(ア)</p>	<p>特徴, 特性 (名詞)</p> <p>個々のモノなら「個性」, 生き物なら「性格」, 物事なら「^{ひょうはん}評判」など, 幅広く用いられる。</p> <p>^{げき}劇などでは, 特徴ある個性を^{はっき}発揮することから, 「登場人物」という意味になる。</p>
<p>cheap [tʃi:p]</p> <p>chea · p チー · プ</p>	<p>^{あんか}安価な, 安(っぽ)い (形容詞)</p>
<p>Chinese [tʃaɪni:z]</p> <p>Chi · ne · se チャイ · ニー · ズ</p>	<p>中国(語 · 人)の (形容詞)</p> <p>中国人 (名詞) もアリ</p>
<p>citizen [sɪtəzn]</p> <p>ci · ti · ze · n スイ · タ · ズ · ン</p>	<p>市民 (名詞)</p>
<p>clearly [kliərlɪ]</p> <p>c · lear · ly ク · リア(ア) · リ</p>	<p>ハッキリ(と) (副詞)</p>
<p>clever [klévər]</p> <p>c · le · ver ク · ね · ヴア(ア)</p>	<p>^{かしこ}賢い (形容詞) が広い意味</p> <p>^{じょうきょう}状況によって, 「^{きよう}器用な」, 「^{こうみょう}巧妙な」など様々な意味になる。</p> <p>「うまくできた」という^{やく}訳は, 方法が clever だったことから。こんな^{せま}狭い意味で覚えられないように。</p>



<p>clock [klák]</p> <p>c · lo · ck ク · ら(ツ) · ク</p> 	<p>お 置 か 掛 け 時計 (副詞)</p> <p>持ち運びを前提<small>ぜんてい</small>としない時計。一方、持ち運んで使う時計(腕時計など)は watch。</p>
<p>close [klous]</p> <p>c · lo · se ク · ろウ · ス</p>	<p>接近した状態 (形容詞)</p> <p>動詞 close[klouz](閉める・閉じる)とはスペルが同じで発音が違う。注意。</p>
<p>collect [kələkt]</p> <p>co · lle · c · t カ · れ · ク · トウ</p>	<p>集める, 収集<small>しゅうしゅう</small>する (動詞)</p>
<p>collection [kələkʃən]</p> <p>co · lle · c · tio · n カ · れ · ク · シャ · ン</p>	<p>コレクション, 収集したもの (名詞)</p> 
<p>come across ~</p> <p>come across ~ 来る ~を横切って</p>	<p>たまたま~に(出)会う</p> <p>元は, の意味。転じて, 突然横切って来た人に「たまたま出くわした」っぽく使われている。</p>
<p>come out</p> <p>come out 来る 外へ</p>	<p>出る, 出て来る</p> <p>中3生なら, にある単語の意味だけで理解できるでしょ。「外へ 来る」んだから, どっかから「出て来る」に決まってる。</p>

<p>come up with ~</p> <p>come up with ~ 来る 近づいて ~とっしょに</p> 	<p>思いつく</p> <p>これって高校レベルの熟語なので、難しい解説になります。</p> <p>upは「上へ」が元の意味だが、上への移動を接近ととらえ、「近づいて」という意味にもなる。「~とっしょに(~^{ともな}を伴って)近づいてくる」が come up with オリジナルの意味。多くの場合、「~」に当たるものが「アイデア」なので、「その考えが自分(の頭の中に)に近づいてくる」「思いつく」と訳されるケースが多い。</p>
---	--


<p>comfortable [kʌmfərtəbl]</p> <p>co · m · for · ta · b · le カ · ム · ファ(ア) · タ · ブ · る</p>	<p>^{ここち} 心地よい (形容詞)</p>
<p>common co · mmo · n [kʌmən] カ · マ · ン</p>	<p>普通の, 一般的な (形容詞)</p>
<p>communication [kəmju:nəkeiʃən]</p> <p>co · mmu · ni · ca · tio · n カ · ミュー · ナ · ケイ · シャ · ン</p>	<p>コミュニケーション</p> <p>^{いしでんたつ} 意志伝達 (名詞)</p>
<p>company co · m · pa · ny [kʌmpəni] カ · ム · パ · ニ</p>	<p>会社 (名詞)</p>

<p>connect [kəˈnɛkt]</p> <p>co · nne · c · t カ · ネ · ク · トゥ</p>	<p>つなぐ, つながる (動詞) 結びつける</p>
<p>connection [kəˈnɛkʃən]</p> <p>co · nne · c · tio · n カ · ネ · ク · シャ · ン</p>	<p>つながり, 結びつき (名詞)</p> <p>日本語化している「コネ(がある)」は connection を略したもの。</p>
<p>content [kántent]</p> <p>co · n · te · n · t カ · ン · テ · ン · トゥ</p>	<p>内容, 中身 (名詞)</p>
<p>continue [kəntɪnju:]</p> <p>co · n · ti · nue カ · ン · ティ · ニュー</p>	<p>続ける, 続く (動詞)</p>
<p>copy co · py [kápi] カ · ピ</p> 	<p>コピーする (動詞) コピー (名詞) もアリ</p> <p>教科書では「マネをする」とあるが、「そっくり写して増殖させること」が元の意味。場面によって「複写(する)」、「マネ(する)」などと訳される。</p> <p>ヘンに訳し分けるよりも、日本語化した「コピー(する)」の方が幅広く使える。</p>

<p>Could you ~ ?</p> <p>Could you ? ことができる(ていねい) あなたは</p>	<p>「～していただけますか？」</p> <p>「～することができますでしょうか？」 という感じ。可能かどうかをていねいにたずねることで、^{たの}頼む表現になる。</p> <p>なお、could は助動詞 can の過去形だが、会話中での助動詞の過去形は「ていねいな表現」として用いられる。</p>
--	---

<p>courage cou · ra · ge [kʌrɪdʒ] カ～・リ(ッ)・チュ</p>	<p>勇気 (名詞)</p>
--	----------------

<p>cover co · ver [kʌvə] カ・ヴァ(ア)</p>	<p>^{おお}覆う (動詞) 覆うもの (名詞) もアリ</p>
--	--

<p>be covered with ~</p> <p>be covered with ~ である 覆われている ~といっしょに 状態</p> 	<p>～で^{おお}覆われている</p> <p>be covered で受動態。</p> <p>前置詞 with は「～といっしょに」という意味で、共同作業を表す。例えば、「何かを布で覆う」という動作は、主語が布といっしょに行う作業。</p> <p>これを受動態にしたとき、何者が覆ったのかは分からないが、「～との共同作業」だったことは間違えない。</p>
--	--

<p>crane [kreɪn]</p>	<p>c · ra · ne ク・レイ・ン</p>	<p>(鳥の)ツル (名詞) 「クレーン(起^き重^{じゆう}機^き)」という意味でも使われる。何となく似てるでしょ？</p>
---------------------------------	-------------------------------	---



<p>create [kri:éit]</p>	<p>c · re · a · te ク・リ・エイ・トゥ</p>	<p><small>そうぞう</small> 創造する, つくりだす (動詞)</p>
<p>crop [krɒp]</p>	<p>c · ro · p ク・ラ(ッ)・プ</p>	<p>農作物 (名詞)</p>

無料DL版はココまでです。続きは有料版をご覧ください。